

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理グループ長 (氏名) 築館 宏治 (TEL) 0172-33-8131
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	6,931	51.2	46	362.2	48	△21.7	47	95.3
24年9月期第1四半期	4,585	△2.1	10	△64.3	61	100.4	24	—

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 85百万円(819.6%) 24年9月期第1四半期 9百万円(△66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	9.89	—
24年9月期第1四半期	5.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第1四半期	13,650	4,239	31.1	894.16
24年9月期	10,083	4,218	41.8	881.37

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 4,239百万円 24年9月期 4,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	12.00	12.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	39.5	130	1.0	125	△32.4	65	△25.1	13.54
通期	28,400	44.8	310	64.5	320	23.9	140	43.0	29.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社日栄東海、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	4,800,000株	24年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	58,677株	24年9月期	13,677株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	4,768,714株	24年9月期1Q	4,786,519株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により回復基調にあるものの、欧州の金融不安や円高等の影響による輸出減少、消費税増税の動き等により不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

また、平成24年10月1日付で当社の持分法適用の関連会社である株式会社日栄東海の株式を追加取得し、連結子会社といたしました。

この結果、連結子会社となった株式会社日栄東海の業績貢献などにより、前年同四半期と比べ売上高は、69億31百万円と23億46百万円(51.2%)の増収、営業利益は、46百万円と36百万円(362.2%)の増益、経常利益は、48百万円と13百万円(△21.7%)の減益、四半期純利益は、47百万円と23百万円(95.3%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(化学工業薬品)

半導体液晶関連企業の生産調整も落ちつき、増産傾向にあり化学工業薬品は前年同四半期を上回りました。また、同関連機器については前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で28億15百万円と1億44百万円(5.4%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は2億77百万円と4百万円(1.7%)の増益となりました。

(臨床検査試薬)

医療費抑制や各種医療機関での共同入札などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移しました。連結子会社となりました株式会社日栄東海の業績貢献もあり、臨床検査試薬は前年同四半期を大きく上回りました。しかし、同関連機器は前年同四半期を若干下回りました。この結果、売上高は、全体で32億58百万円と18億18百万円(126.3%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は3億4百万円と1億42百万円(87.9%)の増益となりました。

(食品)

原料不足による生産調整やデフレによる消費低迷など厳しい環境でありましたが、連結子会社となりました株式会社日栄東海の業績貢献もあり、食品添加物は前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、7億90百万円と3億33百万円(73.2%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は63百万円と10百万円(19.6%)の増益となりました。

(その他)

価格競争の激化や過剰在庫等により厳しい環境でありましたが、その他は農業施設の販売などで前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は67百万円と49百万円(275.6%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は17百万円と16百万円(1,301.8%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、平成24年10月1日に株式会社日栄東海を子会社化したことに伴い、前連結会計年度末に比べ、35億67百万円増加し、136億50百万円となりました。また、負債につきましては、株式会社日栄東海を子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ、35億46百万円増加し、94億11百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、20百万円増加し、42億39百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、株式会社日栄東海を子会社化したこと及び四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品、土地、差入保証金等が増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、株式会社日栄東海を子会社化したこと及び四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金等が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第1四半期までの業績動向を踏まえ、平成24年11月14日に公表した平成25年9月期の第2四半期累計期間及び通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、当社は持分法適用関連会社であった株式会社日栄東海の株式を追加で取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、当社は持分法適用関連会社であった株式会社日栄東海の株式を追加で取得したため、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、持分法の適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要なものはありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,265,239	1,930,584
受取手形及び売掛金	4,608,525	6,076,790
商品	515,882	880,308
繰延税金資産	17,617	3,786
その他	147,101	249,178
貸倒引当金	△4,416	△4,229
流動資産合計	6,549,950	9,136,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	453,620	497,388
土地	1,310,502	1,684,740
リース資産（純額）	111,493	119,749
その他（純額）	253,114	254,670
有形固定資産合計	2,128,730	2,556,549
無形固定資産		
のれん	—	154,128
その他	10,667	15,622
無形固定資産合計	10,667	169,750
投資その他の資産		
投資有価証券	631,407	698,788
リース投資資産	282,853	263,791
その他	500,406	847,180
貸倒引当金	△20,794	△21,647
投資その他の資産合計	1,393,873	1,788,112
固定資産合計	3,533,271	4,514,413
資産合計	10,083,221	13,650,832
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,982,634	7,595,388
短期借入金	—	433,774
リース債務	121,845	126,679
未払法人税等	72,462	11,026
賞与引当金	27,910	15,000
その他	151,585	227,612
流動負債合計	5,356,437	8,409,481
固定負債		
長期借入金	—	407,926
リース債務	363,782	347,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
繰延税金負債	32,881	—
退職給付引当金	20,711	68,702
役員退職慰労引当金	63,862	144,431
その他	27,006	32,924
固定負債合計	508,245	1,001,869
負債合計	5,864,683	9,411,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,476,090	2,476,769
自己株式	△6,637	△25,210
株主資本合計	4,170,953	4,153,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,584	86,423
その他の包括利益累計額合計	47,584	86,423
純資産合計	4,218,538	4,239,481
負債純資産合計	10,083,221	13,650,832

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,585,272	6,931,467
売上原価	4,096,002	6,268,669
売上総利益	489,269	662,797
販売費及び一般管理費	479,201	616,262
営業利益	10,068	46,535
営業外収益		
受取利息	762	755
受取配当金	2,852	2,828
貸倒引当金戻入額	44,487	934
持分法による投資利益	—	343
その他	4,129	3,378
営業外収益合計	52,231	8,240
営業外費用		
支払利息	32	5,875
持分法による投資損失	266	—
その他	86	427
営業外費用合計	386	6,302
経常利益	61,913	48,473
特別利益		
段階取得に係る差益	—	22,500
特別利益合計	—	22,500
特別損失		
固定資産除却損	—	250
投資事業組合運用損	2,643	—
その他	—	1,983
特別損失合計	2,643	2,233
税金等調整前四半期純利益	59,270	68,740
法人税、住民税及び事業税	22,433	9,712
法人税等調整額	12,696	11,882
法人税等合計	35,129	21,594
少数株主損益調整前四半期純利益	24,141	47,145
四半期純利益	24,141	47,145

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,141	47,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,790	38,838
その他の包括利益合計	△14,790	38,838
四半期包括利益	9,350	85,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,350	85,984
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。